

株主メモ  
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
基準日 毎年3月31日  
そのほか必要ある場合には、あらかじめ  
公告いたします。  
定時株主総会 毎年6月下旬  
期末配当金 毎年3月31日  
支払株主確定日  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関  
(電話お問合せ) 〒137-8081  
(郵便物送付先) 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-232-711 (通話料無料)  
公告方法 電子公告  
ただし、事故その他やむを得ない事由に  
より、電子公告をすることができない場  
合は、日本経済新聞に掲載いたします。  
<公告掲載アドレス>  
<http://www.kadoya.com>  
上場取引所 東京証券取引所 市場第1部  
証券コード 2612  
株主ご優待 100株以上の株主に対して、年1回自社  
製品を贈呈 (5月下旬頃)

かどや

第61期株主通信

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

かどや製油株式会社

本社 〒141-0031 東京都品川区西五反田8丁目2番8号

TEL 03(3492)-5545 FAX 03(3492)-5985

<http://www.kadoya.com>

かどや製油株式会社

## 株主の皆様へ

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社はこのたび、第61期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）の決算を終了いたしましたので、ここに当期の株主通信をお届け申し上げます。

よろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。

平成30年6月



代表取締役社長 小澤 二郎

## カタギ食品株式会社子会社化

当社は、平成29年11月16日にカタギ食品株式会社の株式を取得し、同社を子会社といたしました。

カタギ食品株式会社は「和協」、「お客様に感謝の気持ちを持つ」、「お客様のご要望にお応えする商品を作る」、「和算で考え従業員一人一人の足算」を信条に、戦前より家庭用食品ごまの加工・販売を手掛けており、家庭用食品ごま製品の国内シェアは2割強を占めるにいたっております。

当社は家庭用食品ごま事業の更なる成長と発展を目的として、カタギ食品株式会社を当社グループの一員に迎え、同社の持つブランド力を維持しつつ、協力して品質管理、商品開発力等のレベルを向上させ、食品ごま市場で両社の発展を目指していきたいと考えております。



## 新工場用地の取得

当社は一大生産拠点として香川県小豆島に工場を有しておりますが、近年設備の老朽化が進み、また、ごま油の生産数量増加に伴い敷地が手狭になりつつある現状や、自然災害等に対する一工場リスクなどを勘案し、千葉県袖ヶ浦市の袖ヶ浦椎の森工業団地に新工場の用地を取得することいたしました。

## ごま油PET容器新商品発売

発売以来ご好評いただいております「純正ごま油濃口PET600g」に続き、「純正ごま油濃口PET400g」を平成29年11月より発売いたしました。

深煎りで濃厚なごま油は、ごまの味・香りが強く、中華料理や韓国料理に使用すると仕上がりがグッと本格的になります。

また、平成29年7月より、「純正ごま油300g」も瓶からPET容器へとリニューアルいたしました。

「軽い、コンパクト、捨てやすい」をキーワードに、これからもお客様の利便性の向上を図ってまいります。



左から 純正ごま油濃口PET400g、純正ごま油PET300g

## 株主優待

日頃の感謝を込めて、毎年3月31日現在100株以上お持ちの株主様へ、「ごま製品詰め合せセット」を贈呈しております。(年1回、5月下旬)

本年も小豆島ならではの特産品も含めた特製セットをお届けしました。

ご家族やご友人の皆様でお試しいただきましたら幸いです。



(100株以上の贈答品例)



(1,000株以上の贈答品例)

# 事業の概況

## 1. 事業の経過及びその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の改善が進み、国内株価は上昇しました。今後の政府の経済政策によっては、更なる景気の底上げが期待されます。また、世界経済は、緩やかな回復基調にあるものの、北東アジアの地政学的リスクへの不安感や、米国を中心とした保護貿易主義の高まり等により、今後の動向は不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、国内市場の拡大は望めず、食の安全性確保や顧客ニーズへの対応等自社製品の差別化によるマーケットシェアの確保、海外進出による市場開拓等の対応が求められております。

このような状況下、当社は家庭用純正ごま油の発売50周年を記念して、同じく生誕50周年を迎える人気キャラクターであるリカちゃんを起用、幅広い世代に向けて当社の認知度を更に向上させるべく、広告活動を行いました。その他、当社製品の品質の更なる向上のため、品質保証部の設置や、軽量で持ちやすいPET容器の製品展開等、安心・安全で高

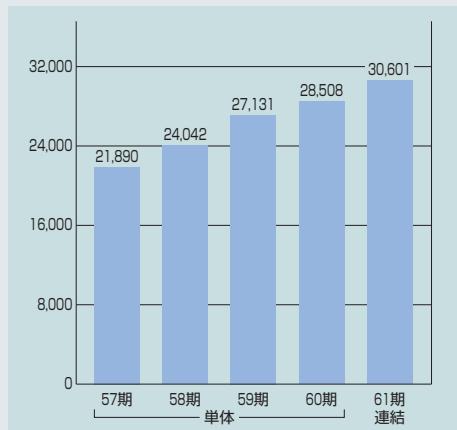
品質の製品をお客様に提供できるよう活動を行っております。また、平成29年11月に家庭用食品ごま製品の国内シェアの約2割強を持つカタギ食品株式会社を子会社化しました。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高30,601百万円、経常利益は5,138百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は3,465百万円となりました。

尚、当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重点政策の一つとして位置付けており、配当性向の目標は単体の当期純利益の40%を目処としております。ただし、業績に関わらず1株当たり20円以上の配当を継続して行えるよう努力してまいります。

この配当政策に基づき、当期の期末配当金については、1株につき普通配当150円といたします。

売上高 (百万円)



経常利益 (百万円)



※61期より、連結財務諸表を作成しております。

60期以前は連結財務諸表を作成しておりませんので、単体財務諸表より記載しております。

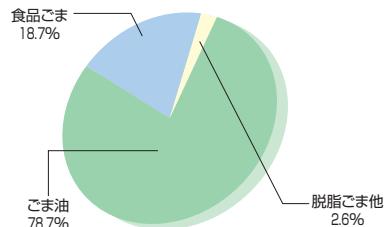
## 2. 会社が対処すべき課題

食品業界の経営環境につきましては、依然厳しく、原料価格の不安定さ、少子高齢化による国内需要の減退等により、競合メーカーとの競争激化が予想されます。このような環境下で当社グループは、今後ごまのトップメーカーとして邁進していくために、以下の課題について取り組んでまいります。

- ①コスト削減と、コストに見合った価格の実現
- ②国内市場では量から質への転換
- ③北米や欧州等の海外市場の拡販に注力
- ④今後のごま需要の動向を見据えた上での生産体制の推進
- ⑤品質管理の徹底による安心・安全の更なる追求、研究開発の推進
- ⑥顧客ニーズにあった新製品の開発及び製品ラインナップの拡充
- ⑦コンプライアンス体制の強化と内部統制システムの構築によるCSR（企業の社会的責任）の向上
- ⑧優れた人材の育成・確保による株主に利益を還元できる体制の確立
- ⑨販売・生産体制及び研究開発などにおけるグループシナジーの最大化の訴求
- ⑩グループ全体の見える化を目指したIT改革の推進

当社グループは、これらの施策により、経営環境の変化に即応できる経営基盤・体質の強化を一層進めてまいります。

売上高構成比（平成30年3月期）



純資産

(百万円)



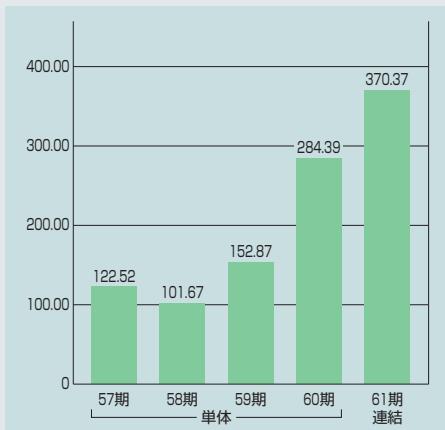
親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



1株当たり当期純利益

(円)



## 連結貸借対照表(平成30年3月31日現在)

(単位：百万円)

(資産の部)		(負債の部)	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	24,509	流動負債	6,789
		固定負債	1,441
		負債合計	8,231
固定資産	8,640	(純資産の部)	
		株主資本	24,179
		資本金	2,160
有形固定資産	5,788	資本剰余金	3,082
		利益剰余金	20,333
無形固定資産	173	自己株式	△1,396
		その他の包括利益累計額	738
投資その他の資産	2,677	その他有価証券評価差額金	755
		繰延ヘッジ損益	△16
資産合計	33,149	純資産合計	24,918
		負債純資産合計	33,149

(注) 百万円未満の端数は切り捨て表示しております。

## 連結損益計算書(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位：百万円)

科 目	金 額
売上高	30,601
売上原価	16,395
売上総利益	14,205
販売費及び一般管理費	9,142
営業利益	5,063
営業外収益	144
営業外費用	69
経常利益	5,138
特別損失	13
税金等調整前当期純利益	5,125
法人税、住民税及び事業税	1,724
法人税等調整額	△65
当期純利益	3,465
親会社株主に帰属する当期純利益	3,465

(注) 百万円未満の端数は切り捨て表示しております。

# 連結株主資本等変動計算書(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位：百万円)

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当 期 首 残 高	2,160	3,082	17,948	△0	23,190
当 期 変 動 額					
剰 余 金 の 配 当			△1,080		△1,080
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益			3,465		3,465
自 己 株 式 の 取 得				△1,395	△1,395
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当 期 変 動 額 合 計	－	－	2,384	△1,395	988
当 期 末 残 高	2,160	3,082	20,333	△1,396	24,179

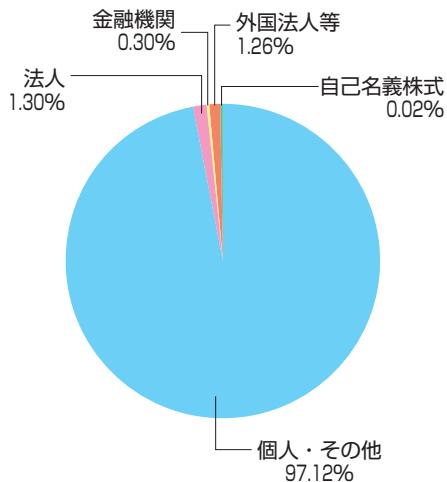
	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	その他の包括利益 累計額合計	
当 期 首 残 高	606	△3	603	23,794
当 期 変 動 額				
剰 余 金 の 配 当				△1,080
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益				3,465
自 己 株 式 の 取 得				△1,395
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	148	△13	135	135
当 期 変 動 額 合 計	148	△13	135	1,124
当 期 末 残 高	755	△16	738	24,918

(注) 百万円未満の端数は切り捨て表示しております。

## 株式の状況 (平成30年3月31日現在)

(1)発行可能株式総数	16,000,000株
(2)発行済株式の総数	9,400,000株
(3)株主数	6,190名

### 所有者別状況分布表



### 大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
	株	%
三菱商事株式会社	2,477,000	26.92
三井物産株式会社	2,019,500	21.95
小澤物産株式会社	1,063,186	11.55
小澤商事株式会社	428,314	4.65
国分グループ本社株式会社	300,000	3.26
日清食品ホールディングス株式会社	300,000	3.26
伊藤忠商事株式会社	200,000	2.17
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	134,700	1.46
株式会社J-オイルミルズ	100,000	1.08
日本山村硝子株式会社	100,000	1.08

(注) 1. 持株比率は自己株式 (200,326株) を控除して計算しております。

## 会社概要 (平成30年 3月31日現在)

商号 かどや製油株式会社  
(KADOYA SESAME MILLS INCORPORATED)

資本金 21億6,000万円

創業 安政5年(西暦1858年)

設立 昭和32年5月2日

営業品目 ㊦印・純正ごま油、純白ごま油、ラー油  
㊦印・食品用ごま製品  
㊦印・脱脂ごま

従業員数 297名(連結:416名)

取引銀行 みずほ銀行 五反田支店  
三井住友銀行 五反田支店  
三菱UFJ信託銀行 本店  
三菱東京UFJ銀行 五反田支店

事業所 本社/〒141-0031  
東京都品川区西五反田8丁目2番8号  
電話03(3492)5545(代表)  
FAX03(3492)5985

工場/〒761-4101  
香川県小豆郡土庄町甲6188  
電話0879(62)1133(代表)  
FAX0879(62)1135

支店/仙台支店、東京支店、名古屋支店、大阪支店  
広島支店、福岡支店

営業所/札幌営業所

子会社 カタギ食品株式会社



## 役員 (平成30年 6月26日現在)

代表取締役社長	小澤二郎	取締役	川上三知男
取締役	久米敦司	取締役	石塚昭夫
取締役	佐野雅明	常勤監査役	菱田州男
取締役	戸倉章博	監査役	兼田隆規
取締役	吉岡努	監査役	井上裕規
取締役	馬場宗夫		
取締役	井尻尚宏		
取締役	森基祐		
取締役	佐藤圭介		